

2017 年 6 月 21 日(水)～6 月 23 日(金)開催
『第 25 回 3D&バーチャル リアリティ展』に出展
～BIM/CIM や、ドライブシミュレーションに利用できる 3D 地図データを紹介～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、2017 年 6 月 21 日(水)～6 月 23 日(金)まで、東京ビッグサイトで開催される「第 25 回 3D&バーチャル リアリティ展」に出展します。街並みを忠実に再現して国内 21 都市を整備した「3D 都市モデルデータ」に加え、今回、住宅地図の階数情報などから簡易的に 3D 地図データ化した全国対応の「広域 3 次元モデルデータ」を追加。建設業界における BIM(※1)・CIM(※2)業務での活用や、自動車業界におけるドライブシミュレーションなど、様々な用途での 3D ソリューションを紹介します。

※1 Building Information Modeling:コンピュータで 3D の建物情報モデルを構成すること。

※2 Construction Information modeling:BIM の土木分野での応用。

■主な出展内容

3D 地図データの各種用途での利用事例

【建設業 BIM・CIM 業務向け】

- ・3D 動画を使い、施工イメージを効果的に説明できる建築用プレゼンテーションソフトウェアにデータを読み込んだ事例の紹介。
- ・建築物の施工シミュレーションができる BIM・CIM ソフトウェアにデータを読み込んだ事例の紹介。
- ・周辺の構造物を考慮して風の流れを可視化できる、環境シミュレーションの紹介。

【自動車業 ドライブシミュレーション向け】

- ・自動車のドライブシミュレーションの背景に利用できる「3D 都市モデルデータ」と、その道路形状に合わせた「3D 誘導ネットワークデータ」の活用事例の紹介。

【その他】

- ・VR(※3)端末を装着し、「3D 都市モデルデータ」でできた街中を案内する VR のデモンストレーション。
- ・「3D 都市モデルデータ」をもとに 3D プリンタで制作した、東京都中心部の 3D ジオラマを展示。

※3 Virtual Reality:仮想現実。CG や音響効果を組み合わせ、人工的に体験可能な現実感を作り出す技術。



BIM での活用例(画像提供:レッドスタックジャパン)



ドライブシミュレーションへの活用(画像提供:ボーンデジタル)

■ イベント概要

出展イベント	第 25 回 3D&バーチャル リアリティ展(総称:日本ものづくりワールド 2017) http://www.ivr.jp/ja/		
日時	2017 年 6 月 21 日(水)～6 月 23 日(金) 10:00～18:00 (23 日のみ 17:00 終了)		
会場	東京ビッグサイト 東ホール	ゼンリンブース位置	東 47-19

※記載されている社名、商品名は各社の登録商標または商標です。